

基本目標

6

豊かな学びと
創造の
まちづくり
《教育・文化》

1 学校教育の充実

1 学校教育

目指す姿（5年後の状態）

小中一貫教育の効果的な実践を通して、きめ細やかな教育を推進し、
人間性豊かでよりよい生き方を求める児童生徒が育っています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）

達成指標

小中一貫教育ならではの授業展開

令和2年度実績

—

令和8年度目標

100%

【指標の説明・根拠】小中一貫教育ならではの児童生徒の9年間の発達を意識した授業を展開した市立小中義務教育学校の教員割合

現況と課題

- ◆本市では、小中一貫教育を計画的に推進してきましたが、幼児教育から小学校教育への円滑な接続や、9年間の継続的な小中一貫教育を生かしたさらなる学習指導により、児童生徒一人一人の資質・能力等の確実な育成に努めていくことが求められています。また、子どもたちが郷土を愛する心を高めていけるよう、郷土教育、キャリア教育の充実を図ることも大切です。
- ◆子ども達の豊かな心や健康な体を育む教育は重要性を増しており、また、暴力行為やいじめの問題、不登校などの取組や未然防止については、保護者からの期待も大きく、児童生徒への指導には一層の充実が求められています。
- ◆新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ICT教育の重要性が急速に高まり、Society5.0時代を生き抜く力を身に付け、国際的な視野を持つグローバルな人材の育成が求められています。
- ◆本市では、学校施設における耐震対策や大規模改修等は概ね完了しているものの、質の高い施設整備を行うとともに、安全・安心を確保し、多様化する学習活動に対応していくことが重要です。教職員が、児童生徒と向き合う時間を増やしていくために、職場環境の向上や負担軽減も求められています。
- ◆現在、学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、これまで地域が取り組んできた子どもたちへの教育支援体制のさらなる充実や、学校・家庭・地域の連携・協働により、社会全体で子どもの育成を支えることの必要性が高まっています。

データ

【小学校別児童数の推移】

年次	霞ヶ浦南小	霞ヶ浦北小	志筑小	新治小	七会小	上佐谷小	下稻吉小	下稻吉東小	青葉台初等学部
平成28年	412	289	84	100	70	37	648	484	38
平成29年	381	280	82	108	62	37	636	481	39
平成30年	403	266	81	101	60	35	632	488	38
令和元年	384	254	85	98	60	35	628	486	33
令和2年	352	242	85	98	59	30	629	453	28
令和3年	332	221	81	94	63	23	591	436	28

【中学校別生徒数の推移】

年次	霞ヶ浦中	千代田中	下稻吉中	青葉台中等学部
平成28年	390	165	610	1
平成29年	394	164	603	6
平成30年	371	165	586	9
令和元年	357	136	562	15
令和2年	347	135	557	11
令和3年	355	145	575	8

資料：学校教育課（各年度5月1日現在）



施策の方向

①かすみがうら市の特色ある教育

各中学校区〔千代田義務教育学校・下稻吉中学校・霞ヶ浦中学校〕毎に小中一貫教育グランドデザインを設け、9年間の小中一貫教育の充実を図ります。また、子どもミライ学習などを通じて、地域の歴史や文化、産業、自然環境等を生かした体験活動や職場見学・職場体験など、本市独自の郷土教育やキャリア教育を推進します。

②確かな学力の定着

幼児期から小学校への円滑な接続だけでなく学年・学校段階の接続を図り、学び直しや補充的・発展的な学習など、個に応じたきめ細かな学習指導に努めるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

③心と体の育成

道徳教育、人権教育、読書活動などを推進し、児童生徒における豊かな心の育成や、自己肯定感・自己有用感を高めるとともに、相談体制の充実を図り、いじめや問題行動の未然防止及び早期発見、早期解決に努めます。また、スポーツや健康教育、食育を通して、体力の維持・向上や健康増進を図ります。

④時代の変化に対応した教育の推進 総合戦略

全児童生徒に整備した1人1台端末を活用したICT教育の強化や、外国語指導助手（ALT）等を

活用した教育を促進するなど、グローバル化に対応した人材育成を図ります。また、特別な支援を要する児童生徒の特性に応じて、様々なサポート支援を図ります。

3-2-1 国際化・情報化に対応した特色ある教育の充実

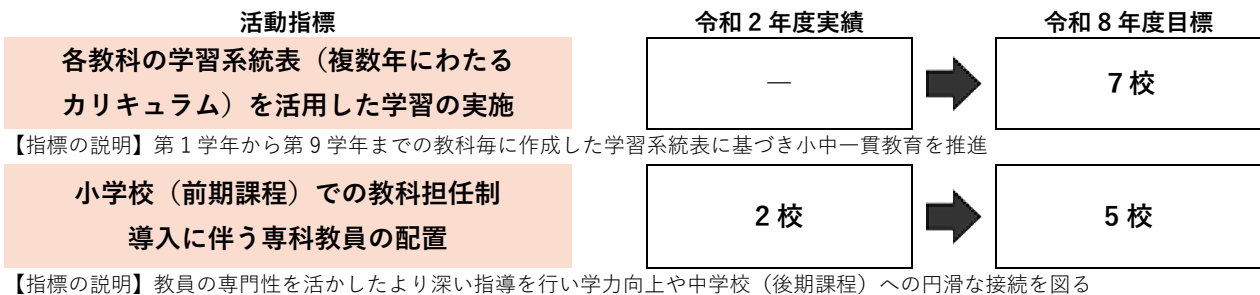
⑤教育環境の整備

デジタル教科書の導入によるICT活用などを含め、新たな教育内容・教育課題に対応する教職員育成や各種研修の充実化を図るとともに、効果的教育活動を目指した働き方改革を推進します。小中学校施設長寿命化計画を基に改修・建替えの検討を進め、学校適正規模・適正配置により公平性のある教育環境の整備を図ります。また、児童生徒の登下校時の安全を確保し、学校統合により遠方化した地域にはスクールバスを運行します。

⑥学校・家庭・地域の連携協力

学校がより身近に感じられるよう学校ホームページによる情報発信に努めるなど、家庭・地域が協働する地域に開かれた学校を目指すとともに、子どもたちのために地域住民が取り組む放課後及び土曜日の学習支援や体験教室などのボランティア活動を支援します。地域と連携して登下校中の児童生徒の安全確保等を図ります。また、子どもたちの健やかな育ちの基盤である家庭教育を支援します。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）



関連する市の個別計画

- ◆小中学校施設長寿命化計画（2020-2024）
- ◆教育振興基本計画（2022-2026）

2 生涯学習の充実

1 生涯学習

目指す姿（5年後の状態）

市民一人ひとりが生涯学習活動を通して、教養や知識を身につけ、
生きがいや仲間を見つけ、自らを磨くことで、より豊かな人生を実現できています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）

達成指標

生涯学習プログラムの年間事業数

令和2年度実績

5事業

令和8年度目標

6事業

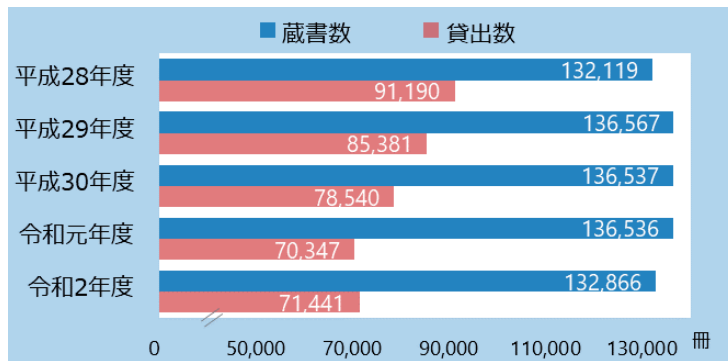
【指標の説明・根拠】生涯学習機会を提供した事業数

現況と課題

- ◆本市は、「いつでも」「どこでも」「誰でも」の基本理念に基づき、幼児から高齢者までのあらゆる世代や様々な目的に応じた生涯学習事業を展開しています。
- ◆地域社会においては、地域経済の縮小や地方財政の悪化、医療・介護の需給ひっ迫、一人親世帯の増加等を背景とした貧困問題、地域の伝統行事等の担い手の減少に加え、コロナ感染症対策に伴う人と人とのつながりの希薄化や社会的孤立の拡大など、さまざまな課題に直面しています。こうしたなか、新たな社会の姿として Society5.0 の実現が提唱されるなど、大きな社会の変化が訪れようとしています。
- ◆今後より多様で複雑化する課題と向き合いながら、一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会をつくるには、ICT などの新しい技術も最大限活用しつつ、全ての人々が生涯にわたって主体的に学び続けることのできる環境、つまり市民協働型の事業展開が一層重要です。
- ◆また、社会の変化のスピードが速まる中では、求められる知識やスキルも変わっていくため、社会に出てからの学び直し（リカレント教育）の重要性が高まっています。そのため、若者から高齢者まで、だれもが学びに向かうことのできる、生涯学習プログラムの環境づくりが求められています。

【図書館の状況】

データ



資料：図書館（各年度末現在）

施策の方向

①生涯学習推進体制の確立

かすみがうら市生涯学習推進計画を策定し計画に沿った生涯学習推進に努めます。また生涯学習の進むべき方向性や様々な課題に対し、諮問機関など専門的な意見の聴取に努めます。

②生涯学習機会の提供と生涯学習団体への支援

総合戦略 行財政改革

多様な生涯学習プログラムの提供により、市民の幅広いニーズに対応するとともに、若者から高齢者までの多様な世代が学び始めるきっかけづくり、仲間とつながりながら楽しく学ぶ機会づくりを進めます。また、生涯学習団体が意欲を持って自ら学び教え交流することで人とのぬくもりを感じ、生きがいづくりに取り組めるよう支援します。平日常中に限らず、夜間や休日、またオンラインによる学習機会を提供し、参加機会を拡充します。

1-5-2 地域を支える若い人材の組織化支援

3-1-2-1 ニーズと調和した生涯学習

③生涯学習施設の整備充実

人気図書やリクエスト図書の購入を心掛け、市民が利用しやすい図書館のレファレンスサービスの充実を心掛けます。また、電子図書の導入に向けた調査研究を進めます。

④生涯学習情報の提供

行財政改革

マナビガイドに加え、HP や SNS を活用した情報提供を行い、迅速に情報を提供していきます。

生涯学習施設を拠点とした機会提供型の生涯学習に加え、自らのテーマやライフスタイルに応じて自ら学ぶ生涯学習を推進できるよう生涯学習人材バンクの拡充に努めます。

2-1-1-4 学びによる地域と人づくり

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標	令和2年度実績	令和8年度目標
生涯学習プログラム（講座等）の開催回数	8回	38回
【指標の説明】 子ども大学、大人大学、高齢者大学、人材バンクなどの活動事業数		
生涯学習プログラム（ふれあい生涯学習フェア）への参加団体数	—	110団体
【指標の説明】 ふれあい生涯学習フェアに参加した文化団体、文化協会加盟団体などの数		
公民館講座の受講者数	575人	1,700人
【指標の説明】 霞ヶ浦中地区、千代田義務教育学校地区、下稲吉中地区の合計延参加者数		
講座の開設数	18講座	40講座
【指標の説明】 1年間（前期・後期）に実施する講座数		
生涯学習情報の提供	35,375回	25,000回
【指標の説明】 生涯学習サイトなどでの情報発信回数		

関連する市の個別計画

- ◆生涯学習推進計画（2018-2022）
- ◆教育振興基本計画（2022-2026）

2 生涯学習の充実

2 スポーツ・レクリエーション

目指す姿（5年後の状態）

スポーツ・レクリエーション活動の機会と場を提供することにより、
子供から高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親んでいます

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）

達成指標

施設の利用向上に伴う
利用者数の増加

令和2年度実績

70,068人

令和8年度目標

140,000人

【指標の説明・根拠】社会体育施設利用状況

現況と課題

- ◆本市では、市民のスポーツ活動の推進や青少年の健全育成の面から、市体育協会や加盟団体、スポーツ少年団の活動を支援しています。
- ◆また、誰もがスポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会を提供し、市民の心身の健康の保持増進に取り組むとともに、各種スポーツ大会やイベントを開催し、スポーツ活動を通じた市民の交流を図っています。
- ◆スポーツ推進においては、スポーツジムなどの個人的な健康・体力づくりに対して人々の関心が高まっている一方、スポーツ施設の利用者が減少してきており、団体での活動者が少なくなってくると推測されます。
- ◆今後は市民が望んでいるスポーツに対するニーズを把握するとともに幅広い世代の人たちに健康づくりとしての運動や生涯スポーツの楽しさを感じてもらえる機会を提供することが求められます。

データ

【主な社会体育施設の利用者数】

年度	体育センター	わかがり運動公園	うちグラウンド	うち体育館	多目的運動広場	戸沢運動公園	第1常陸野公園	千代田B&G海洋センター	霞ヶ浦中地区公民館	千代田中地区公民館	あじさい館	図書館	歴史博物館（旧郷土資料館）
平成28年	14,059	48,039	27,617	20,422	31,841	7,103	14,482	12,022	30,046	13,931	84,516	58,798	10,528
平成29年	14,648	39,560	21,749	17,811	25,210	6,093	13,556	12,582	28,096	14,376	89,018	54,408	13,150
平成30年	11,201	35,566	21,270	14,296	25,451	4,707	14,736	11,536	25,880	19,659	88,599	52,359	11,178
令和元年	11,001	39,524	22,437	17,087	28,834	4,588	14,872	13,564	23,581	15,136	82,120	48,040	11,555
令和2年	6,768	27,053	15,150	11,903	16,151	3,178	10,483	6,435	7,068	5,033	41,673	22,173	8,385

資料：各社会体育施設所管課（各年度末現在）

施策の方向

総合戦略

①スポーツ・レクリエーション活動の推進

健康寿命の延伸、青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化など、現況や目的に対応したスポーツのある生活が実現できる体制づくり、システムづくりを推進します。また、スポーツイベントやスポーツ教室の開催、水辺を生かしたカヌー体験、総合型スポーツクラブなどとの連携により、誰もが気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、指導者の育成を図りながらスポーツ団体の育成強化に努め、各種事業や団体活動との連携強化を図ります。

2-1-3 霞ヶ浦を生かした水辺のスポーツ振興

②スポーツ・レクリエーション施設の利用促進

行財政改革

スポーツ施設の効果的かつ効率的な活用を促進し、様々なスポーツの需要に対応します。また、

オンライン予約システムの更なる徹底と適正な維持管理による施設環境の質的向上に努め、施設利用を促し、地域に根差したスポーツ団体に学校などの体育施設の利用を促進します。スポーツ施設については、各施設近隣の学校体育施設との関連も考慮しながら必要な機能と規模を整理し、機能見直し及び施設の廃止等を進めます。これらを総合的に判断しながら指定管理制度の導入を検討します。

3-1-4-1 体育施設の指定管理化

③スポーツ・レクリエーション団体の育成

スポーツ推進員と連携して、指導の強化や組織の育成を図ります。さらには、スポーツを通して青少年の健全育成を図るスポーツ少年団の活動を支援するとともに、体育協会やその加盟団体などの自主的な活動を支援します。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標

各種スポーツイベント、講座などへの
参加人数

【指標の説明】 スポーツイベントや講座等を実施し参加人数の増加に努める

令和2年度実績

—

令和8年度目標

5,000人

少年団及び体育協会による市長杯大会開催数

8回

14回

【指標の説明】 スポーツ少年団等が運営補助金や市長杯委託金を受け、自主運営で市長杯大会を開催する

関連する市の個別計画

- ◆生涯学習推進計画（2018-2022）
- ◆教育振興基本計画（2022-2026）



〔スポーツ少年団の活動〕

3 地域文化の継承と創造

1 地域文化

目指す姿（5年後の状態）

多くの方に市の歴史資源の魅力を伝え関心を高めることで、
郷土愛や誇りを抱く市民が増え、市外の方にも本市の文化が伝わっています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）



【指標の説明・根拠】1年間の入館者総数

現況と課題

- ◆ 特色ある歴史や文化は、保存・伝承に加えて観光やまちづくり等にも活用していく必要があります。地域総がかりによる文化財の次世代への継承に向けた取組を促進するためかすみがうら市文化財保存活用地域計画を策定し、市の魅力の一つである歴史資源を生かしたまちづくりを目指します。
- ◆ また、市の歴史情報発信拠点である歴史博物館を有効活用するため、施設機能の拡充や楽しみながら学べる拠点づくりが課題となっています。あわせて、歴史資源を通じた地域コミュニティを再生するため、専門的知識や技術を有する学芸員や市民学芸員の人員確保や育成が必要となっています。
- ◆ 文化芸術活動に取り組んでいる市民の高齢化等により、ふれあい生涯学習フェアの参加人数の減少や、文化協会の加盟団体数と会員数の減少などがみられ、未来につないでいくためにはマナビィに文化団体自主講座を掲載して団体の支援をするなど、若者の参加を促していくための工夫が必要です。
- ◆ 幼いころから文化芸術に親しむ機会を持つことが、将来生涯にわたり文化芸術活動に取り組んだり、積極的に参加していく市民を育てることにつながります。
- ◆ このため、学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）の充実などにより、子どもの感性を育み、文化芸術の次世代を担う人材の育成に取り組むことが必要となっています。

データ

【周知の埋蔵文化財包蔵地現存遺跡数】



資料：県文化課（平成28年8月26日現在）

施策の方向

①文化財保存活用地域計画の策定

かすみがうら市の魅力の一つである文化財を保存、伝承するために文化財保存活用地域計画を策定し、中長期的に観光やまちづくり等にも生かしていきます。

②地域文化拠点の整備

帆引き船の国選択化、風返稻荷山古墳出土品の国指定化が進む中、資料の保管、展示環境の整備が急務となっています。また、展覧会や講座等の利用者の利便性向上を図るため、老朽化した博物館を改修していきます。

③芸術・文化活動の推進

総合戦略

文化団体及び文化協会加盟団体を支援し、市民の芸術文化活動を推進させ、文化活動のサークル活動の活性化を図ります。
 多種多様な講座や公演などにより、文化芸術に親しむ機会の少ない層も取り込み、あらゆる世代の文化芸術活動への参加を促進します。
 学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）の充実などにより、子どもの感性を育む取組を推進します。

2-2-3 歴史的価値のある資源の活用振興

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標	令和2年度実績	令和8年度目標
文化財一斉公開事業の入場者数 【指標の説明】魅力ある市の文化財を2日間限定で公開し、観光やまちづくりの観点でも事業化していく	—	5,000人
特別展・企画展の開催 【指標の説明】魅力ある市の歴史資源をテーマとした展覧会を開催する	3企画	4企画
文化協会加盟者数 【指標の説明】文化協会に加盟している人数	811人	850人
文化財保存活用件数 【指標の説明】市内の文化財の保存、活用した件数	10件	15件

関連する市の個別計画

- ◆生涯学習推進計画（2018-2022）
- ◆文化財保存活用地域計画（2023-2031）
- ◆教育振興基本計画（2022-2026）



〔指定文化財一斉公開（仏像鑑賞ツアー）〕